

令和3年 第7回（12月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

12月10日（金）			
質問者			
通告第1号	19番	中嶋	通治
通告第2号	16番	赤出川	義夫
通告第3号	14番	五十嵐	恵千子
通告第4号	15番	大泉	日出男
通告第5号	13番	小野	潔
通告第6号	9番	成本	直寛
通告第7号	3番	稲葉	剛治

12月13日（月）			
質問者			
通告第8号	10番	降旗	聡
通告第9号	8番	雪田	きよみ
通告第10号	20番	松崎	誠
通告第11号	2番	稲垣	茂行
通告第12号	5番	林	美希
通告第13号	7番	飯島	正義
通告第14号	17番	吉川	敏幸

12月14日（火）			
質問者			
通告第15号	11番	伊藤	正勝
通告第16号	1番	岩田	京子
通告第17号	6番	遠藤	義法
通告第18号	12番	齋藤	詔治

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 19番 中嶋 通治	自然災害の発生時における対応、発生以前における対応について	<p>先般、旭小学校、旭地区センターで開催された減災訓練について職員の皆様をはじめ地域の皆様方には大変お疲れさまでした。</p> <p>さて、10月7日夜遅く千葉県西部を震源とする地震があり足立区や川口市では震度5強の強い揺れを感じました。当市では震度5弱の揺れでありましたがそれでも恐怖感があり、この揺れは東日本大震災以来の揺れであったと認識いたします。今後、予想される首都直下型地震は、M7クラスで30年以内に70%の確率で起こるだろうとの試算があります。今後30年以内とは明日にでも発生するかもしれない30年と言われていています。災害は備えあれば憂いなし、との諺どおり、教育と訓練が必要だと思えます。そこで以下のとおり防災・減災について質問をいたします。</p> <p>①先の9月議会で夜間の減災訓練について質問をいたしましたが、再度質問をいたします。夜間訓練を行うに際して、自主防災組織の要望があれば積極的に支援するとの答弁があり、そのことは評価いたしますが、しかし市としてブラックアウトについては今後、研究していきたいとの答弁がありましたが、市として積極的に夜間訓練を行うべきではないかと考えるが、いかがでしょうか。</p> <p>②小中学校での児童生徒を対象とした防災訓練を行っているのでしょうか。行っているとするればどのような内容で訓練を行っているのかお伺いいたします。</p>	市長 教育長 担当部長
通告第2号 16番 赤出川 義夫	1. 健康増進のための無料入浴券について 2. 防災対策について 3. 今後の市のイベント開催について 4. 小児用コロナワクチン接種について	<p>健康増進のため、高齢者の憩いの場所として無料で利用されてきた、地元の銭湯が令和4年3月で閉店予定と伺っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料入浴券配布に至った経緯、これまでの年代別利用状況等を伺います。 ・当該銭湯の閉店にあたり、利用者の中には入浴困難者も出てくると思われれます。今後、他の民間入浴施設への補助等、市としての見解をお伺いします。 <p>・中川の木売～高久吉川駅南側の堤防嵩上工事の概要と、天端は舗装されるのか伺います。</p> <p>・堤防への既存階段で、手摺りのない階段が3カ所あります。設置予定を伺います。</p> <p>・コロナ禍で自粛する中、市のイベントが延期・中止となってきましたが、今後の計画を伺います。</p> <p>・吉川市ではワクチン接種が進み、感染の減少につながっていると思われれます。</p> <p>令和3年11月16日付で厚労省より、「5歳以上11歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について」の通知がきていますと伺っています。吉川市としては</p>	市長 担当部長 市長 担当部長 市長 担当部長 市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
(続) 通告第2号 16番 赤出川 義夫	(続) 4. 小児用コロナワクチン接種について	小児用ワクチン接種の安全性について、どのように認識されているのか伺います。また、これまでもワクチン接種を行ってきたところですが、副反応による死亡や後遺症について、小児用も含めて市の見解を伺います。		
通告第3号 14番 五十嵐恵千子	1. 子宮頸がん予防ワクチン積極的勧奨再開に向けて	<p>子宮頸がんは子宮の入り口部分である子宮頸部にできる「がん」で、今年年間約 10000 人近くの女性が子宮頸がんにかかり、約 2800 人も女性が亡くなっています。子宮頸がんの原因である HPV の感染を防ぐHPVワクチンは、国の 2011 年度からの基金事業を経て 2013 年に定期接種となり、小学 6 年生～高校 1 年生相当の女子は、接種を希望すれば無料で接種が可能となっています。一方で 2013 年 6 月より国は積極的勧奨を差し控えるとしたため、多くの自治体が対象者への通知をやめてしまい、7 割近くあった接種率が 1%未満にまで激減しておりました。</p> <p>国は昨年 10 月と今年 1 月の 2 度にわたりヒトパピローマウイルス感染症の定期接種の対応および対象者等への周知について通知を発出し、市町村に HPV 定期接種対象者へ情報提供の徹底を求めました。そこで、まず昨年 10 月、国からの通知を受けての当市の対応とその結果について伺います。</p> <p>また、厚労省の専門家による分科会は、11 月 15 日、高校生や大学生相当の女子も時限的に追加で公費接種対象にする報告で一致し、今後、救済する年齢を詳しく決め、来年度から始まる見通しとの報道がありますが、当市におきましても、この制度の趣旨を踏まえて、これまで個別通知をしていた世代も含めた全対象者に対し、国の方針が変わったこと及び積極的に接種をお勧めする旨の分かりやすい訂正案内を速やかに郵送通知でお届けするべきと考えますが、当市のご見解を伺います。</p>		市長 担当部長
	2. 吉川市DX (デジタル・トランスフォーメーション) 推進計画は戦略的に	<p>DX (デジタル・トランスフォーメーション) とは、デジタル技術とデータを活用して、既存の業務プロセスなどを改革し、新たな価値の創出と社会の仕組みの変革を進めるという意味で、デジタルの「D」と「トランスフォーメーション」を「X」と表現し「DX」と略した造語です。国では、誰もがデジタル化の恩恵を最大限に受けることができる社会を実現するための司令塔であるデジタル庁を 9 月 1 日に発足させ、他の先進国に後れを取ってきたデジタル時代の官民インフラを今後 5 年間で一気に呵成に作り上げるとの目標です。</p> <p>当市におきましても、そうした時代変革の流れを敏感にキャッチし、第 6 次総振原案の第 5 章第 4 節に「人に優しいDXの推進」を位置付け、今後、関連する個別計画・方針等で、</p>		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第3号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>(続) 2. 吉川市DX (デジタル・トランスフォーメーション) 推進計画は戦略的に</p>	<p>吉川市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画 (仮称) を策定するとあります。</p> <p>人口減少・高齢化という社会構造の急激な変化の中で、社会全体がデジタル化に向かわざるを得ない今、あらゆる分野に影響を与え、既存の行政サービスや働き方なども今まで以上に加速し変革されて行くものと考えます。また、先進地である塩尻市では「デジタル技術により既存の行政サービスや働き方を抜本的に改革するとともに、官民連携によるデジタル技術を駆使した都市機能の向上を図り、住民の多様なライフスタイルに寄り添える地域社会の実現を早期にめざす」と戦略を策定し、早々と実績を上げています。そこで、当市におきましても市民のために、戦略的な計画を策定し、早期に推進すべきと考えますが、ご見解を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第4号 15番 大泉 日出男</p>	<p>当市における観光と地域活性化推進について</p>	<p>ある市民の方から、江戸川サイクリングロードを利用している中で、休憩場所やサイクルスタンドがあった方がよいとのご要望をいただきました。理由としては①当市の観光アピールとなり意識がアップする②健康増進、環境にやさしい、誰でも気軽に運動ができるとのこと。更にサイクリングに固執することなく、観光や地域活性化の視点から、例えば農産物のミニ販売などで地域名所の街おこしを創出するのもよいとのことでした。</p> <p>吉川市都市計画マスタープラン改定に係る『市民意識調査』令和2年12月実施、令和3年4月発表のアンケートによると、観光、地域活性化のテーマをピックアップしたところ、その中で年代差はあるものの市民の方は鋭く感じとられており「吉川は住みやすいがみんなお金は吉川市外で使っている気がします・40代中央北部在中」とか「大型商業施設の誘致は近隣にあるので不要。市民が吉川市を愛せるための街づくりに期待します・50代北部在中」とありますように観光や地域活性化を切に願っていると多く読み取れるところがあります。それを踏まえた上でお伺いいたします。</p> <p>①平成22年9月議会で互金次郎前議員の質問で市内サイクリングコースの充実を検討してみてもどうか質問した際、ご答弁は、「今後、ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想のコースを踏まえながら、吉川市版サイクリングコースについて検討してまいりたいと考えております」とありました。その後の進捗はいかがでしょうか。ご所見を伺います。</p> <p>②県の施策である、健康長寿埼玉プロジェクトにおいて自転車活用の推奨がありますが、当市において何か具体的な取り組みがあればご所見を伺います。</p> <p>③当市における今までの具体的な観光支援の取り組みとこれから (With コロナ) の具体的な支援策がありましたら、ご所見を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第4号 15番 大泉 日出男	(続) 当市における観光と地域活性化推進について	④観光業への支援や地域活性化を目的としてワーケーション、リモートワークの推進があげられます。「吉川美南駅前複合化施設整備事業に関するサウンディング型市場調査実施要項」の中で将来を見据えた、持続可能性と柔軟性ある施設、新たなライフスタイルとデジタルで新たな魅力を生む施設、民間と相乗効果で賑わう施設、を導入イメージとされておりますが、観光と地域活性化を一緒に融合させる視点で、例えば、吉川市民農園をモデル施設としてみてはどうかと考えますが、ご所見を伺います。	市長 担当部長
通告第5号 13番 小野 潔	1 新型コロナ感染症対策等及び社会経済対策について	<p>政府は11月19日臨時閣議を開き、新型コロナウイルスの感染抑止と経済活動の両立に向け、国と地方の負担分などを含めた財政支出は55.7兆円となる新たな経済対策を決定しました。公明党が先の衆院選で強力に訴え、11月8日に政府へ提言した内容が随所に反映されました。18歳以下や生活困窮者への給付、事業者への支援策のほか、ワクチンの3回目接種の無料化、マイナンバーカードの新規取得者や保有者に最大2万円のポイント付与などが盛り込まれました。この補正予算には地方創生臨時交付金6.8兆円も盛り込まれています。12月召集の臨時国会での補正予算の速やかな成立が待たれるところであります。</p> <p>このような国の動向を見ながら進められる当市での新型コロナ感染症対策及び社会経済活動についてお伺いいたします。</p> <p>1 新型コロナ感染症対策等</p> <p>①新型コロナ感染者数は全国的にも激減している状況であります、当市においても県の発表では、10月31日の1名の感染から11月は現在まで感染者0人であります。専門家も激減の理由は様々であるがよく分からないといわれる方もいます。当市ではどのように受け止めていますか。</p> <p>②ワクチン接種について、11月7日にいただいた報告では全体で2回目接種が終わった方が81%、1回目接種が終わった方が86%でした。現在の状況はいかがですか。また全国では11月18日現在2回目76.3%、1回目79.0%です。当市の接種率は素晴らしいと思いますが、要因についてどのように考えていますか。</p> <p>③政府は3回目の接種を無料で行うことを決めファイザー製のワクチン3600万回分を各自治体へ発送し12月1日より医療従事者から始め、一般は2回目接種より8カ月経過を原則に開始としておりますが、当市での医療従事者の状況、一般接種への準備状況はいかがですか。</p> <p>④本年9月議会で小中学校での感染症対策として、不織布マスクの推奨・啓発を提案致しましたが状況はいかがですか。今後の感染症対策(コロナ、インフルエンザ等)として小中学校の水道の蛇口についてセンサー等による非接触型にしてはと考えますがいかがですか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策等及び社会経済対策について</p>	<p>2 社会経済対策について</p> <p>①政府が閣議決定をした社会経済対策の内、0歳から18歳、住民税非課税世帯、生活困窮者への10万円の給付金等について既に準備を進めている政策があるかと思いますが、状況についてお伺いいたします。</p> <p>②新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用して、専決処分した補正予算(第8号)1500万円、事業発展支援補助金上限30万円、4分の3市負担、これら事業の状況についてお伺いいたします。</p> <p>③政府が閣議決定をした社会経済対策について事業者支援、マイナンバーカードポイント付与、GoToキャンペーン、新たな地方創生臨時交付金等、詳細はこれからとなりますが今後への所見を含めてお考えをお尋ねいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第5号 13番 小野 潔</p>	<p>2 第一土地区画整理地内の近隣公園・街区公園・緑道等の整備について</p>	<p>この表題のテーマは、平成25年12月議会の一般質問で取り上げさせていただいたテーマでもあります。その際{老朽化の進んだ施設について、計画的な修繕、改築などを行い、適切な維持管理に努めます}として、第5次総合振興計画の前期基本計画の重点テーマであることを述べ質問いたしました。現在市では公園再生プロジェクトとして、関公園を初め市内の近隣公園を中心にコンセプトを定め整備を推進されてきたところであります。今回は第一土地区画整理地内の再生プロジェクトとして、これからの近隣公園、プロジェクト以外の街区公園について、市民の方より相談・要望が寄せられていますので質問させていただきます。</p> <p>①木売公園、中曽根公園等では老朽化した危険遊具等が撤去されたままになっていますが、今後はどのように考えられているのかお伺いいたします。</p> <p>②樹木等の枝が道路へ越境している近隣・街区公園が多く見受けられます。対策についてお伺いいたします。</p> <p>③各公園・ポケットパーク等のベンチも老朽化が進み木材が腐っている物も多く見受けられます。市ではどのように把握されていますか。また、対応についてはどのように考えていますか。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第6号 9番 成本 直寛</p>	<p>三郷北部土地区画整理事業の進捗に伴う吉川市への影響について</p>	<p>現在、三郷北部土地区画整理事業が行われております。私の住まいからとても近いので、日に日に変化していく様子を目にしております。近隣住民の方の関心は非常に高くなっております。</p> <p>以下、質問をさせていただきます。</p> <p>○区画整理事業の進捗による吉川市内(特に隣接する道庭地区)への現時点での影響・課題・対策等がありましたらお教えてください。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第6号 9番 成本 直寛</p>	<p>(続) 三郷北部土地区画整理事業の進捗に伴う吉川市への影響について</p>	<p>○近隣住民の方から「どのような建物が建つのか」「事業はいつ完了するのか」等の質問を多く受けます。市民の方から市の方へ区画整理事業に対する問い合わせはありますでしょうか。あれば内容等もお聞かせください。</p> <p>○現在、区画整理事業に伴い三郷市の小中学校に通う児童生徒が一部吉川市を通り通学しております。通学路の変更経緯・期間・学校名・人数・安全対策について、三郷市との協議している内容があれば、お教えください。</p>	
<p>通告第7号 3番 稲葉 剛治</p>	<p>スポーツ×まちづくり</p>	<p>1. 「スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進について」 国では令和3年度中に第3期スポーツ基本計画を策定予定。 埼玉県では国の第3期スポーツ基本計画を参考に来年度次期計画を策定する予定としています。そうした中、吉川市においてもスポーツ推進計画の策定が進められており、スポーツ推進計画策定により吉川市においてのスポーツ施策がより前進していくことになると受け止めているところです。そこで、以下について伺います。</p> <p>①吉川市スポーツ推進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市スポーツ推進計画の基本方針、どのような視点と理念で計画策定を進めているか伺います。 <p>②国の第3期スポーツ基本計画の内容と吉川市のスポーツ推進計画の関連について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に策定予定の国の第3期スポーツ基本計画の内容と吉川市スポーツ推進計画の関連性についてお聞かせください。 <p>③市の部署間の取り組み、関係機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画が策定されることによって市の部署間の横断的な取り組み、市とスポーツ関係団体との連携にどのような変化があるか伺います。 <p>④eスポーツについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツはオンラインで離れていても一緒に体を動かすことができるバーチャルスポーツです。年齢や性別、場所や空間、身体的な差異を越え、分け隔てなく楽しめるバリアフリーなエンターテインメントであることから多様な主体の参画も期待できます。eスポーツに関して 	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
<p>(続) 通告第7号 3番 稲葉 剛治</p>	<p>(続) スポーツ×まちづくり</p>	<p>スポーツ推進計画策定においてどのような議論があったのか伺います。</p> <p>⑤多様性に応じたスポーツ体制づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツを通じた多様性の理解促進の取り組みの中で、パラスポーツの観戦が触れられています。どのような内容か伺います。 <p>⑥スポーツによって地域の魅力を知る・発信するについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 市出身選手・団体・企業スポーツの活躍情報の発信について内容を伺います。 <p>2. スポーツ施設について</p> <p>①既存のスポーツ環境、活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の課題と今後について伺います。 民間スポーツ施設の有効活用について伺います。 <p>②分散型スポーツ施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> 美南駅東口開発地域、第2最終処分場、防災センター、屋外プール跡地について、スポーツ施設としての活用の観点から進捗状況を伺います。 		<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第8号 10番 降旗 聡</p>	<p>気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりについて</p>	<p>誰もが心身の健全な発達と健康の保持増進ができるよう、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりをめざします。と、第6次総合振興計画前期基本計画（原案）に記されています。また、現状と課題のなかで、活動拠点となるスポーツ施設については、安全性、快適性、利便性等が求められることから、適正な維持管理や新たな活動の場の創出に努めていく必要があります。としています。</p> <p>そこで、以下について市の考えをたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東埼玉資源環境組合第二最終処分場における地元連絡協議会との話し合いの内容と、今後の利活用について。 2) スポーツ施設の利便性等が求められるなか、駐車場や道具保管庫の整備についての考え方について（最終処分場・中曽根グラウンド・旭グラウンド等） 3) スポーツ施設へのアクセスの充実について（道路網の整備・公共交通の路線など） 		<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第8号 10番 降旗 聡</p>	<p>持続可能な公共交通のあり方について</p>	<p>誰もが公共交通を利用し、行きたいときに行きたい場所へ快適に移動できる環境づくりをめざします。と、第6次総合振興計画前期基本計画（原案）に記されています。現状と課題の中で、移動ニーズや公共交通事業の現状に関して市民や交通事業者と情報共有を図りながら、市内公共交通の最適化や利用促進等の取り組みを検討する必要があります。</p> <p>そこで、以下について市の見解をたします。</p> <p>1) 市民と事業者、行政とが情報共有を図り、市内公共交通の最適化を推進するための公共交通会議の設置について</p> <p>2) バス事業者への補助金の推移（過去5年と今後の5年）と、タクシー利用料金助成事業の予算の推移</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第9号 8番 雪田 きよみ</p>	<p>1. 不登校支援について</p>	<p>市は今年、「適応指導教室」を「教育支援センター」と改め、「児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指せるよう、学習支援や体験活動の充実、教育相談員による丁寧な面談を行っていく」との方針を示しました。具体的に変わったこと、児童生徒や保護者の反応、今後の課題などお聞かせください。</p> <p>また施政方針で、「これまでの適応指導教室の卒業生に向けたアンケートによる現況調査を行い、義務教育終了後も含めた不登校支援の在り方について研究を深めていく」としています。</p> <p>① アンケートの具体的な内容と結果をお聞かせください。</p> <p>② その結果から不登校支援の在り方について、現時点でどのように考えているかお聞かせください。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>2. 病床削減に向けた市の対応について</p>	<p>今年5月21日、病床削減などを盛り込む医療法等改正案が可決・成立しました。今後急速に後期高齢者人口が急速に増えることが予測される埼玉県でも病床削減が推し進められようとしています。医療の必要度が増す中での病床削減に、非常に不安を抱いています。</p> <p>① 埼玉県及び東部保健医療圏の病床削減計画及び、その計画が市民の医療にどのような影響を及ぼすのか、見解をお聞かせください。</p> <p>② 計画策定にあたって県との協議があれば、その内容をお聞かせください。</p> <p>③ 病床削減が進めば、重症者が十分に回復しないまま自宅に戻されるケースが増えるのではないかと危惧しています。在宅医療の充実が求められていると考えます。市の対策をお聞かせください。</p> <p>④ コロナ禍はまだ終わったわけではありません。また気候変動に伴い、今後も新たな感染症の出現リスクも指摘されています。こうした状況の中で病床削減が進められることに対し、国や県と今後どのような協議をしていくのか、市の姿勢をお聞かせください。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
	3. 国保の子どもの均等割りについて	<p>来年度から、国民健康保険税のうち未就学時の均等割りが減額され、公費で支援されることになりました。私たち日本共産党議員団も長年にわたり子どもの均等割りの減額を求めてきましたので、今回の措置をととても嬉しく思っています。</p> <p>しかし残念ながら、減額されるのは未就学児に限定されています。学童期に入り子どもの支出が増える時期に、子育て世帯に均等割りの重い負担がのしかかります。</p> <p>① 市独自の支援策として、18歳までを対象として減額するべきだと考えています。見解をお聞かせください。</p> <p>② 18歳までを対象とした場合の対象人数及び金額をお聞かせください。</p>		市長 担当部長
(続) 通告第9号 8番 雪田 きよみ	4. 納税相談について	<p>税の滞納をしている方々に対し、市では様々なアプローチをしながら納税相談を実施しています。しかし実際に滞納を余儀なくされ、困窮している方々の切実な思いとは乖離があるように感じています。</p> <p>① 滞納者に、納税相談に来るようにとの通知が出されています。しかし生活が困窮し、新たな職場を見つけ働き始めた方にとって、平日の昼間の納税相談は非常に無理があります。月2回しかない夜間の相談も、仕事の状況いかんでは非常に厳しい状況です。平日の日中に来訪できない方々の納税相談は、予約制に切り替えるべきではないかと考えます。見解をお聞かせください。</p> <p>② 滞納者は生活に困窮し、払わなければならない税金を払えない事実に変に大変困惑しています。市の福祉部門とともに支援する姿勢が求められていると考えます。見解をお聞かせください。</p> <p>③ 国保税滞納者の中には体調不良で働けず、収入がないので国保を滞納せざるを得ず、滞納しているので医療にアクセスできずさらに体調を悪化させるという、負のスパイラルに陥っている方もいらっしゃいます。このような方々の受療権をどのように保障するのか、市の見解をお聞かせください。</p>		市長 担当部長
	5. 道路の安全対策を	<p>田中皮膚科クリニックから東に100m程度の交差点について、通勤時間帯などには長蛇の列ができるほど交通量が多く、しかも歪な形の交差点です。信号の設置を求める声が、多く寄せられています。市の見解をお聞かせください。</p>		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第10号 20番 松崎 誠	安全安心のまちづくりについて	<p>1. 防災・減災施設等の充実について</p> <p>第6次吉川市総合振興計画の前期基本計画（原案）において、防災・減災施設等の充実についての内、玉葉橋付近の河川防災ステーションの整備に合わせ、備蓄倉庫等の機能を有した水防センターの整備を進めますとあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 水防センターを整備していく中で、実施計画策定の時期は ② 避難所機能を有した複合施設設置（水害時等）の考え方、また、水防センターと水防倉庫の違いは ③ 地域住民との協議は <p>2. 生活道路の整備について</p> <p>生活道路の整備についての内、誰もが安全に通行できるよう、生活道路の整備を計画的に推進しますとあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前期基本計画（原案）に計画的にと言う文言が新たに加筆されていますが、その経緯は ② 第5次総合振興計画、第5期実施計画の中で、道路維持補修事業として、利用者が安全に通行できるよう、道路の舗装及び補修、清掃、路肩の除草を行うほか、里親制度による地域住民の道路清掃の支援を行い、適正な道路の維持管理を行うとあります。また、拡充事業として明記されています。過去における10年間の事業費の推移と、今後の予算の効率的・効果的な執行に向けた対応と、財源の確保についてお伺いします。 	担当部長
通告第11号 2番 稲垣 茂行	新型コロナウイルス感染症対策 （「第6波」への対策について）	<p>今夏の新型コロナウイルス感染症「第5波」では感染者が全国で連日2万人を超え、重症者が中等症向け病院へ搬送されたり自宅療養者が自宅で亡くなる等、感染拡大は制御不能状態となり医療の逼迫を招きました。</p> <p>9月に入り新規感染者が急減したことから、各地に出されていた緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が9月30日に解除、その後も感染は減少し続け現在（11月末）の感染状況は落ち着いています。</p> <p>しかし、次の感染「第6波」では新たな変異ウイルス「ミュー株」や「オミクロン株」による感染拡大が心配されます。感染力の強さや重症化の度合い、従来ワクチンの効力、対応ワクチンの供給時期、開発中治療薬の効果等分からないことが多くあります。</p> <p>政府は11月12日、新型コロナ「第6波」に向けた総合対策を決定。対策の主な柱は、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保、日常生活の回復です。また19日</p>	

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
<p>(続) 通告第11号 2番 稲垣 茂行</p>	<p>(続) 新型コロナウイルス感染症対策 (「第6波」への対策について)</p>	<p>には、過去最大となる55.7兆円の経済対策を閣議決定しました。コロナ禍で大きな打撃を受けた人達や事業者らを支援するためのものです。中小企業や個人事業主等の事業復活支援金、住民税非課税世帯・子ども・学生への給付金の他、Go To キャンペーン等への支援です。</p> <p>そこで埼玉県及び草加保健所管内の医療体制強化及び、吉川市としての感染拡大対策と収束へ向けた取り組み、また国の経済対策に連動して市が行う事業等について質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県内医療提供体制強化の具体的取組内容 2 これまでの市内感染状況及びワクチン接種状況 3 3回目接種の実施内容（方法・場所・対象者・スケジュール・医師会との協議等）及び接種率向上の具体的施策 4 自宅療養者情報提供協定内容及び市が実施する支援内容と体制 食事〈弁当等〉提供・食料品の配布、パルスオキシメーターの貸し出し、在宅酸素投与支援、酸素ステーションの設置（消防署・病院等）、医師・看護師等による相談・見守り、市内病院・クリニックでの軽症患者受け入れ（独居高齢者・シングル世帯・障がい者等） 5 市内「自宅療養者」の救急搬送の現状 6 情報提供の拡充（市内・近隣市感染状況、感染時の対応、医療体制等） 7 無料PCR 検査 		<p>市長 担当部長</p>
	<p>新型コロナウイルス感染症対策 (日常生活の回復と経済対策)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事や部活動への対応 2 公共施設の利用基準の見直し、各種イベント開催 3 ワクチン接種証明書の利活用（感染対策と経済活動の両立を図る視点） 4 経済対策で予定されている事業で、対象となる個人・世帯・事業者等の数及び実施方法 事業復活支援金、住民税非課税世帯・子ども・学生への給付金等 5 市独自支援の考え方と支援内容 6 コロナ対策に係わる会計年度任用職員の数と業務内容（今年度）と次年度の考え方 		<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第12号 5番 林 美希</p>	<p>いじめ防止対策について</p>	<p>「いじめ防止対策推進法」と「吉川市いじめの防止等のための基本的な方針」を照らしながら、市の具体的な対策について伺う。</p> <p>①いじめ防止対策推進法「第4章 いじめの防止等に関する措置」下において「(出席停止制度の適切な運用等)第26条 市町村の教育委員会は、いじめを行った児童等の保護者に対して学校教育法第35条第1項の規定に基づき当該児童等の出席停止を命ずる等、いじめを受けた児童等その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を速やかに講じるものとする」とある。</p> <p>これは市いじめ防止基本方針に照らすと「3 いじめの防止のために学校が実施すべき施策／(3) 学校におけるいじめ防止等に関する措置／ウ いじめに対する措置」の範囲となりうるかと思うが、いじめ防止対策推進法第26条にあたる記述が市いじめ防止基本方針の中に見られない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市、吉川市教育委員会はいじめ防止対策推進法第26条をどのように認識しているか ・吉川市、吉川市教育委員会、吉川市いじめ問題対策連絡協議会、吉川市いじめ問題対策委員会、その他学校・子どもの育ち関連組織の中で「いじめを受けて学校へ通えない児童は学校で教育を受ける権利を奪われている状況」「いじめを行った児童の学校で教育を受ける権利」について議論はあったか ・いじめ防止対策推進法第26条にあたる「いじめを行った児童等の保護者に対して当該児童等の出席停止を命じる」措置を検討されたことがあったか ・いじめ防止対策推進法第26条にあたる「いじめを行った児童等の保護者に対して当該児童等の出席停止を命じる」措置が実施されたことがあったか <p>②いじめ防止対策推進法、市いじめ防止基本方針の中で「いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを通じて行われるものを含むと明記されているが、LINE等SNS上で心理的にネガティブな影響を与えられた児童及び保護者が学校に相談した場合、どのような対応がされているか 	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
<p>通告第13号 7番 飯島 正義</p>	<p>1. 障がい者の通院を含む 外出支援の充実を</p>	<p>福祉タクシー券助成事業は「障がい者の移動手段の確保と経済的負担の軽減を目的」として しています。福祉タクシー券の交付枚数は、月3枚で年間36枚支給されます。1回に使える のは、初乗り1回の1枚のみ、往復使っても2枚だけです。その他に介護タクシーを利用し た場合、車への乗り降りが必要な方には介助料（1,100円×2回）が必要になってきま す。障がいを持つ方々が外出する支援策の充実が求められていると考えます。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>① 介護タクシーを利用する際の介助料の負担額が大きいため、外出支援策として介助料等利 用券を発行し使用できるようにするべきだと思います。考えを伺います。</p> <p>② 血液透析で通院される患者さんで、週3回、月13回、往復すると26回にもものぼる方が 多くいると伺っています。無料送迎を行っている医療施設もありますが、無い施設に通う 場合は介護タクシーを利用せざるを得ない方もおります。血液透析の患者さんの実情にあ った補助枚数にするべきではないでしょうか。</p> <p>③ 福祉タクシー券の初乗り枚数制限をなくし、あわせて枚数を増やしてはいかがでしょ うか。</p> <p>④ 現在1枚500円の助成額を引き上げることを検討してはいかがでしょうか。 市の見解を伺います。</p>		<p>市長 担当部長</p>
	<p>2. 大沢元埼玉県知事居宅 跡地の公園整備について</p>	<p>大沢元埼玉県知事居宅跡地の緑地整備として当初予算で500万円計上しています。施政 方針では市民の皆様の憩いの場や環境教育の場としても活用できるよう整備していくと述べ ています。</p> <p>3月議会の私の質問に対し、跡地については市民の皆様が樹木や自然を身近に感じ、憩い の場となる整備を進めていくとの答弁でした。「一部借り受けの広さは全体で約5,400㎡ あります。その内約3,900㎡の敷地を借り受けることとなります」と述べています。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>① 3,900㎡の敷地には家屋も含まれますか。3月議会では答弁はされませんでした が、その後の進捗についてお聞きします。</p> <p>② 公園整備については具体的にはどういう構想で、どのような計画で実施し、いつから利用 できますか。今後の見通しについて伺います。</p>		<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第14号 17番 吉川 敏幸	1. 米価下落の支援策について	(1) 米価下落に困窮している販売農家に支援の手を。 1. 市内の販売農家数は。 2. 市内の農業就業者の平均年齢と高齢化率は。 3. 食料は戦略物資であり、安全保障の問題である。越谷市や松伏町では面積あたりや1 営農者あたり支援金が出ている。吉川市でも実施したかと考えるが、市の見解を伺う。		市長 担当部長
	2. 子育て世帯への臨時特別給付金について	(1) 子育て世帯として、分断なく給付を。 1. 子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる世帯数と人数は。 2. 世帯で最も収入が多い人が基準となっており、共働きの世帯年収や18歳以下の子どもの人数によっては、不公平感や格差が広がる可能性がある。何とか対象外となる世帯へ給付することはできないか、市の見解を伺う。		市長 担当部長
	3. 道路の安全対策について	(1) 横断歩道や歩行者用信号の設置について。 1. 吉川美南のケーズデンキから三郷市へ向かう市道2-123と2-396が交差するT字路について、吉川から三郷へ向かう場合、手前には横断歩道があるが、奥には横断歩道はなく、現場は緩やかなカーブであり、そこを横断する歩行者の姿を視認しにくいとの市民からの声がある。横断歩道の設置や歩行者用信号を設置したかと考えるが、市の見解を伺う。		市長 担当部長
通告第15号 11番 伊藤 正勝	医療体制拡充に関連 看護師・介護士の処遇改善 感染検査と重中等症の 取り組みは	コロナとの付き合いも2年に。政府は第6波に備える総合対策と55.7兆円の大型補正予算を編成。状況の変化に対応し、今回もコロナを軸に質問をいたします。 医療体制拡充に関連して ▽看護師・介護士の処遇改善について。市内の看護師の人数。主な働く場。給与の実状は。有資格者の掌握と実状。処遇改善はいつ、その内容は。▽医療体制拡充と「見える化」に関係して。民間診療所の市内検査の実状。医療施設の数。検査件数（この半年の動向）。行政検査の役割と実状。今後は。重中等症について市内医療機関の対応は。吉川市周辺の対応施設・宿泊ホテルは。中核病院の実状は。		市長 担当部長
	コロナの市民への影響。自治会・学校等	▽コロナの市民活動への影響。近年の自治会活動の動向。支援活動費の実状。加入率の変化（5年前、10年前比も）。今後の取り組みは。老人会についても同様の質問をします。 ▽学校やPTA活動への影響は。修学旅行等行事の中止。音楽、水泳等授業内容の変化。ICTや語学の教科等指導要領も新たな展開。実状と影響は。課題と今後の取り組みは。		教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
(続) 通告第15号 11番 伊藤 正勝	(続) コロナの市民への影響。自治会・学校等	今後に備えてのオンライン学習等の予定は、PTA活動への支障や変化についても伺います。		
	Withコロナに向けて	▽感染対策と生活・経済活動の両立へ。これからの課題と取り組み・指針について伺います。		市長
	市職員の活動と影響 会計年度職員の活用 新規採用は 教職員についても	<p>コロナは市政の業務や管理運営にも大きな影響があったと思います。主な取り組みや工夫。休暇や時間外勤務等の実状。会計年度任用職員の活用の実状。新規採用の実状。採用基準。男女比。中途採用は。コロナとの関係はいかがですか。</p> <p>学校現場もご苦労が多く大変だったと思います。影響とその克服の対応について、ご紹介ください。</p>		市長 教育長 担当部長
	吉川美南駅東口開発	▽東口開発も中盤に。これからの課題と取り組みのポイント。打開策は。終了までの主なスケジュール。駅前商業・文化施設の公募時期と大枠の内容は。調整池や公園の修景・着工時期は。データセンターの契約状況と内容についても伺います。		市長 担当部長
通告第16号 1番 岩田 京子	1) 食料システムについて	<p>食料システムとは食の調達・生産・加工・流通及び消費の一連の活動のことを言います。この食料システムから世界の温室効果ガス排出の3分の1が排出されていて、食料システムの変革により森林破壊や貧困・飢餓はもとより、児童労働など公正な社会解決にも寄与するといわれています。科学者らは食料システムの変革はSDGsの全ての解決に繋がると認めています。9月にニューヨークで開催された食料システムサミットにおいても、食料システムの改革はSDGsの多くの項目の達成に必要な不可欠だと確認がされたところです。</p> <p>そのことを踏まえ、改めて質問いたします。</p> <p>① 農林水産省の「みどりの食料システム戦略」の中で、SDGs ウェディングケーキについて「自然資本から生み出される様々なものを活かすことで、私たちの社会は成り立っており、自然資本を持続可能なものにしなければ他のゴールの達成は望めない」とはっきりと書かれていますが、吉川市の見解を改めてお聞きします。</p> <p>② 「今まで通り (Business as usual)」から脱却し、社会変革が求められています。農業の変革のキーとして地産地消、有機的な農業 (化学肥料・化学農薬の削減)、カーボンニュートラル、イノベーションがキーだと思いますが、市のお考えは。</p> <p>③ 学校教育における食料システムに関するESDについて。昨年のミートフリー献立の提</p>		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
	(続) 1) 食料システムについて	案時に、教育から始めるための前向きな検討をするとの答弁をしていますが、その後の進展は。 ④ 食料システムを考慮した学校給食の献立について。 ⑤ 職員や市民に対する食料システムに関する啓発について。		
(続) 通告第16号 1番 岩田 京子	2) 吉川美南駅周辺土地区画整理事業の環境影響評価に基づく環境保全措置について	環境影響評価制度は、規模が大きく環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業の実施前に、事業者自らが事業に係る環境影響について評価を行うことなどにより、環境の保全について適正な配慮がなされることを確保するための仕組みであり、現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に資するため、極めて重要な制度です。当事業地における環境保全措置は、残存を検討するも、困難なための代替措置であります。事後評価のものもありますが、事後予測含め、現状確認を求めます。 ① 緑地が事業区域内に17.4%創出される予定となっています。この緑地は鳥類や昆虫などの生息場所の代償措置です。公園や参入事業者における代替措置実施計画について、どのような取り組みがされる予定になっているか。 ② 事業地区内の湿地環境の創出は、鳥類や水生昆虫などの生息環境を創出するための代償措置です。その進捗状況は。 ③ 当エリアには408種類の植物が生息していて、重要種が16種類確認されています。その中でも、このエリアにのみ生息がみられた希少種6種類（シロバナサクラタデ・タコノアシ・ヒメミソハギ・マツカサススキ・タタラカンガレイ・キタミソウ）については、湿地を生息場所とし、区域内に創設する調整池内に移植するよう代替処置が示されています。キタミソウについては、そこでは生息が困難と想定されるため、区域外の適地への移植も検討するように示されています。どのような措置が行われているのでしょうか。 ④ 移植活動について、市民参画の視点は考えられているのでしょうか。		市長 教育長 担当部長
	3) 豊かな水辺の環境を保全するための吉川市の努力は	吉川市においては長年「水と緑のまちづくり」をうたってきています。平成28年度より「川まつり」を実施し、市民に水辺に親しんでもらう企画を繰り広げてきました。吉川市総合振興計画の中でも「豊かな水と緑に恵まれた自然環境を保全し、自然と共生した持続可能なまちづくりをめざす」とあり、それには与えられた地理的条件の恩恵だけではなく、市の努力による保全が求められていると思います。 ① 「豊かな水に恵まれる」とは、どのような状態を示しますか。		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
(続) 通告第16号 1番 岩田 京子	(続) 3) 豊かな水辺の環境を保全するための吉川市の努力は	② 吉川市内の水辺における環境配慮は。その場所の把握とその活用について。 ③ 今後の水辺における環境配慮について、市の見解は。		
通告第17号 6番 遠藤 義法	令和4年度予算編成に向けての特徴と課題、事業計画は	<p>令和4年度の予算編成にあたって、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市長が職員に指示した予算編成の基本的考え方、方針は何か。 とりわけ第6次吉川市総合振興計画・前期基本計画、都市計画マスタープランの実施初年度としての位置付けなどについて。 2. 新型コロナ禍での生活が2カ年に及び、生活様式が変わるなかでの健康や暮らしを守るなどの支援策が求められていると考えます。課題と施策実施の基本的な方針は。 3. 個人市民税、法人市民税など大幅な減収の影響はないとのことでした。来年度の見通しと財源確保、予算総額は。 4. 政府は、『新経済・財政再生計画』などを踏まえ、交付団体を始め地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保」としています。一方、地方交付税の概算要求額は、前年度比0.3%増です。見通しを伺います。臨時財政対策債の発行は抑制との方針ですが市の対応は。 5. 市民の意識を考慮した市の重要度の高いものに「医療施設の充実」「駅周辺の商業・業務施設の立地」「道路の冠水対策」などが挙げられています。前期基本計画（第6次総振）の重点テーマにも掲げられている事業もあります。具体的に伺います。 <p>①浸水被害が発生する区域の総合治水計画の見直しの基本的な考えと事業の年次計画は。吉川駅北口から北の第一排水区の流出解析と江戸川河川事務所との協議の進捗状況は。建築物の適正な維持管理では、保健センター、市民交流センター おあしすなどの今後の改修計画は。上水道のインフラ整備計画と財源確保、支援策は。</p> <p>②「学力向上」「体力向上」「非認知能力の育成」を重視した学校教育の充実を、新型コロナ禍でどのように教育委員会は進めるのか。</p> <p>③脱炭素社会の構築に向けた取り組みの推進は、喫緊の課題です。これまで既存住宅における太陽光発電設備設置補助、ネット・ゼロ・エネルギー住宅の建築に太陽光発電設備設置の補助拡大、住宅改修費補助事業を活用した省エネ改修工事の促進など、住宅の省エネルギー化を推進してきましたが、これまでの実績と今後の具体的計画は。</p>		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第18号 12番 齋藤 詔治</p>	<p>笑顔いっぱい豊かな活力あふれる吉川市。 吉川美南駅東口土地区画整理事業の成否。</p>	<p>区画整理事業開始から4年が経過いたしました。事業計画通り進捗していますか、事業実施状況検証してみたいかがですか。私は吉川市の公共施行などではなく、民間活力を導入してはと提案また、事業実施には計画区域内の土地の先行取得をお願いしてまいりましたが、実施されませんでした。なお、鉄道運輸機構所有地の吉川美南駅前グラウンドを開発公社名義にて区画整理事業推進に向け購入していた土地を、本年7月に吉川市が買い戻し、吉川市民の所有財産になりました。</p> <p>この区画整理事業は中原市長のまちづくりコンセプトが優先し、一番大事な財政を重んじた、企業経営感覚の欠如が要所に見られます。市民の税金53億円が投入されている大事業です。また事業実施にあたり申出換地形式にて進めております。多くの地権者の皆さんの所有地です、一人一人の意見を取り入れた対応が必要です。私は現状での市が裁判を起こすことには、反対をしてくれています。過日、吉川市が裁判を起こし1年2カ月で取り下げし解決を図りましたが、これは吉川市の実質的な敗訴であると考えます。さらに本年9月議会で、地権者1名に対し構築物の明渡し及び費用負担の裁判を行うための議決に対し、私は反対、多くの諸問題がある中で十分な話し合いをお願いしました。</p> <p>『事業実施の問題点』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛土工事のための建設工事発生土のガラ混入搬入問題、搬入盛土の土壌分析の未実施について見解は。 ・建設搬入土盛土不足による土圧不足による、今後の地盤沈下への影響への考慮は。 ・産業業務ゾーン特に処分先がデータセンター(運営合同会社)へ、吉川市民の財産が売却、安価なうえ今後雇用の拡大や法人税収入への期待が得られないのでは説明を。 ・産業業務ゾーン4社への吉川市の土地売買契約内容(契約書)、4社への保留地処分契約、その他個人、法人の契約内容などの説明を。 ・本来の事業計画通り事業が推進しておらず、この状況で事業を進めるのは、今後何十年もここで生活する皆さんに対して、責任が持てるのか状況を検証すべきです。今後のこの事業における瑕疵担保責任対応をどうするのか説明を。 ・業務代行事業者は、当初から建設発生土搬入盛土へのコンクリートガラ混入状況を把握し、今日までの搬入盛土に関する事業を認めつつ、吉川市への報告対応はどうであったのか。 ・産廃と思われるコンクリートガラなどの処分が来年3月までとのことだが、予定通り完了するのか。説明後今日までのコンクリートガラなどの処分量の説明を。 ・コンクリートガラ処分は工事の遅延など等を含め、工事への影響はどうなのか、解決は。 	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
<p>(続) 通告第18号 12番 齋藤 詔治</p>	<p>(続) 笑顔いっぱい豊かな活力あふれる吉川市。 吉川美南駅東口土地区画整理事業の成否。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃と思われるコンクリートガラなどが入った搬入土は、コンクリートガラなどを撤去した後の盛土について、土壌分析検査をするべきと思ういかがか。 ・区画整理駅前北側商業ゾーン 4.4 haの第1回募集応募者なしでした。今後の対応は。 ・区画整理駅前南側商業ゾーン 1.2 ha土地利用計画の検討状況の説明を。 ・区画整理周辺接続道路整備の対応について伺います。 ・この区画整理事業には市民の税金が53億円投入されています。 <p>この事業費には、当初保留地処分金として1坪30万円(105億円)の価格です。これを1坪45万円にての処分価格にすると157.5億円になります。保留地処分金だけで52.5億円の増になります。吉川市の所有地(市民の財産)そして個人、法人所有地への価格に対する影響も大です。見解は。</p>		<p>市長 担当部長</p>